



## なるほど！投資のキホン① ———— そもそも株式って何？

「株式」とは、かんたんに言うと“**会社のオーナーの一部になる権利**”です。会社は事業を成長させるためにお金を集め、その見返りとして株式を発行します。私たちは株を買うことで、その**会社の成長に参加する**立場になります。



株を持つということは、必要に応じて「**売る**」という**選択肢も持つ**ということです。売るとは、会社を見限るという意味だけではありません。「いったん成果を受け取る」「別の投資先に移す」といった、自然な判断でもあります。たとえば、「当初考えていた成長がひと区切りついたと感じたとき」「生活の中でお金が必要になったとき」などに、株は売られます。

誰かが売るからこそ、誰かが買うことができ、市場は動き続けます。株の値段は、「買いたい人」と「売りたい人」のバランスの中で決まっていくのです。



では、株は無限に売られるのでしょうか。答えはNOです。株式には発行数があり、**原則として数は決まっています**。そのため、買いたい人が多く、売りたい人が少ないと、「今は売ってくれる人がいない」という状態になることがあります。これが、株の世界でいう意味での“売り切れ”に近い状況です。

ただし、現実の市場では、**売り切れる前に値段が上がって調整されます**。買いたい人が増えると、「この価格なら売ってもいい」と考える人が現れ、株価が上がることで売り手と買い手のバランスが取られるのです。

ニュースで耳にする「ストップ高」も、この延長線上にあります。ストップ高とは、1日の値動きに上限が設けられており、買い注文が殺到してもそれ以上値段を上げられない状態のことです。この場合、価格は上限まで上がっているのに、売り手がほとんど現れず、「買いたくても買えない」状況が一時的に生まれます。

企業型DCで選べる投資信託は、こうした株式を一家に集中させず、世界中に分散して組み合わせた商品です。一時的な売り切れや極端な値動きに左右されにくく、長い時間をかけて成長を目指す設計になっています。

### 🌱投資も仕事も“**成長を信じて関わる**”

仕事は、すぐに成果が出るとは限りません。それでも会社や仲間の成長を信じて関わり続けることで、少しずつ形になっていきます。投資も同じです。毎月の拠出という日々の積み重ねが、将来の安心につながります。自分の働きと未来を、長い目で育てていきたいですね。

🔔 次回予告 — 次回は「会社はなぜ株を増やしすぎないの？」。お金集めの手段なのに、むやみに発行しないのはなぜか。株数と株価、そして会社の信用の関係をやさしく解説します。

おすすめ!



【乗り遅れた あなたに】確定拠出年金ってそもそも何ですか？

これさえ見れば、納得・安心して始められます！



Click!

